

一般

**平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)**

評価対象事務事業名		広報もりおか発行事務事業			事業コード	0078
担当課等	所属名	市長公室 広聴広報課		担当係名		
	課長名	市長公室 広聴広報課	担当者名	市長公室 広聴広報課	電話番号	2624

**1. 事務事業の基本情報**

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	市民とともにつくる行政の実現	コード 3
	基本事業	分かりやすい行政情報の提供	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 2目 市政広報活動事業(005-01)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 昭和14年度~)		
事務事業の概要	市政情報や市民活動などを掲載する「広報もりおか」を発行する					
根拠法令等	なし					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市民に市政情報などを伝えるために開始した。昭和14年5月に創刊						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民から、広報紙サイズをA4判に変更してほしい、字を大きくしてほしい、もっと有意義な情報を迅速に載せてほしいなど多様な意見が寄せられている						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
携帯端末やインターネットなど多様な広報媒体との連携による、迅速かつ効果的な広報活動の展開が求められる						

**2. 事務事業の実施状況(Do)**

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B. 世帯数	単位	世帯
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 広報紙による市政情報の提供 全世界帯を対象に、毎月2回(1日号と15日号)を発行 ・毎月の広報戦略会議で各号の編集方針を決定 ・取材と原稿作成(担当課の原稿収集含む) ・DTPシステムによる編集 ・印刷及び町内会配布担当員への配布 ・町内会配布担当員と業者から各世帯へ配布 ・広告掲載による歳入の確保  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  22年度と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 1回当たりの発行部数	単位	部
				B. 年間発行回数	単位	回
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民に市政情報を提供することによって、市政に対する理解と協力を得る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 広報紙を読んでいる市民の比率(市民意識調査及びまちづくりアンケート)	単位	%
				【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
				B.	単位	
	【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】					
	C.	単位				
	【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】					
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業 どのよう貢献するか)	行政が保有している情報を分かりやすく市民に提供する	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	開示請求及び情報提供件数(ホームページ新着情報件数含む)(単位:件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297,592	297,267	297,267	297,267	298,148		年度
対象 指標B	世帯数	世帯	124,563	125,590	125,590	125,590	125,149		年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	1回当たりの発行部数	部	139,100	139,600	139,600	139,600	139,300		年度
活動 指標B	年間発行回数	回	24	24	24	24	24		年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	広報紙を読んでいる市民の比率(市民意識調査及びまちづくりアンケート)	%	-	86.0	88.0	-	89.0		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	53,343	53,730	52,745	45,113	46,017		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円	4,195	4,215	4,216	4,687	4,690		*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	35,834	35,870	36,464	29,753	32,099	0	*****
	⑧その他(広告料収入等)	千円	13,314	13,645	12,065	10,673	9,228		*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	53,343	53,730	52,745	45,113	46,017		*****
	延べ業務時間数	時間	10,100	10,100	10,100	10,200	10,100		*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	40,400	40,400	40,400	40,800	40,400	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	93,743	94,130	93,145	85,913	86,417	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 市民が市政情報を得ることによって、市政への理解や参加促進につながる
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市民へ市政情報を正確かつ適切に提供することは市の責務である
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: より広く、市政に対する理解度の向上や市民参画の促進を図るためには、全戸配布が妥当と考える
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 市政に対する理解度の向上などを旨とするは、日頃からはもとより、今後も継続して追い求める責務であり、拡大や縮小という観念はそぐわない。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 行政として周知すべき事項に限らず、市民ニーズに即した情報を掲載することで、広報紙を活用する市民の比率が向上する
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 全市民へ情報を提供できる唯一の媒体であり、廃止や休止により市政に対する理解度はもとより、市民活動にも多大な影響を与えることが予想される
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: いわてグラフ(県)、ウェブもりおか(市ホームページ)など ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 掲載事項や対象地域、目的などが異なるため、統合することはできない
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費の大半は広報紙の印刷製本費であり、ページ数を削減することは情報量の低下につながることから、削減が適当とはいえない
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 広報編集作業のより一層の効率化を図ることにより削減が可能
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市民へ市政情報を提供することは市の責務であり、受益者負担を求めることは適当ではない
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 市民へ市政情報を提供することは市の責務であり、受益者負担を求めることは適当ではない

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  寄せられる市民の意見を参考として、より市民に親しまれる広報紙を目指す。具体的には、市民が参加するコーナーを創設するなど</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?                  (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)                  市民参加のコーナーに市民の投稿を求めても、内容が偏ったり投稿数が少ないことも予想される一待ちの姿勢ではなく、地域に足を運んで積極的な情報提供を求める</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ○ 妥当              ● 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当              ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>広報もりおかの役割は何か, 何をどのように市民に伝えたいかを念頭に置き, 編集発行を行っている。</p>										
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>震災復興推進などを広報もりおかでどのように扱っていくか常に検討しながら編集していく必要がある。そのためには関係部署との十分な情報交換が欠かせない。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う									
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携									